

そば栽培管理情報（第2号）

令和元年8月30日
アルプス農協管内農業技術者協議会

1. 雜草防除

○碎土を丁寧に行い、苗立ちの確保と初期生育を促進し雑草の発生を抑えましょう。

○生育期にイネ科雑草が多発した場合は、除草剤を適切に使用しましょう。

【除草剤の散布の目安】

薬剤名	適用雑草	10a 当り使用量	使用方法	使用時期	使用回数
ナブ乳剤	1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	150~200 ml (水1000ml当り)	雑草茎葉 散布	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) (但し、収穫45日前まで)	1回

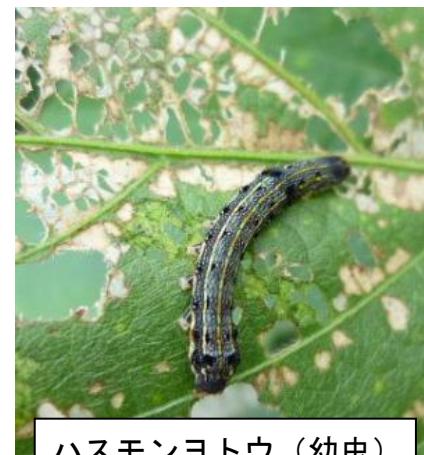
2. 害虫防除の徹底

ヨトウムシ（ハスモンヨトウ・シロスジアオヨトウ）
は9月中旬以降に突発的に発生することが多く、
早期発見・適期防除が重要です。

○播種時期の早い圃場や生育の旺盛な圃場を中心に見回り、
葉の食害が見え始めたら早急に防除を行いましょう。

○薬剤散布をする場合は幼虫が小さいうちに行いましょう。
老齢になると防除効果が劣るので、注意しましょう。

○団地化された地域では、誘殺用フェロモントラップの
圃場への設置が被害の発生防止に有効です。



ハスモンヨトウ（幼虫）



シロスジアオヨトウ（幼虫）

【そばに登録のある殺虫剤】

害虫名	薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数・使用量
ハスモンヨトウ	ロムダンフロアブル	21日前まで	2回以内	2,000倍・100~300 L/10a
	ロムダン粉剤DL	21日前まで	2回以内	4kg/10a
	クオークフロアブル	発生初期（収穫前日まで）	—	400倍・150~300 L/10a
	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期（収穫前日まで）	—	2,000倍・100~300 L/10a
	フェニックス顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~6,000倍・100~300 L/10a

※クオークフロアブル、ゼンターリ顆粒水和剤は天敵微生物を利用した生物農薬です。

【フェロモントラップ：ハスモンヨトウ雄成虫誘引剤】

薬剤名	目的	使用量	設置時期
フェロディンSL	ハスモンヨトウのオス成虫を 広域的に大量に誘殺	1個（台）/30a (1.5~2ヶ月有効)	播種後2週間後頃に 設置



フェロモンに誘引された
ハスモンヨトウのオス成虫

誘殺用フェロモントラップの設置方法

- ・トラップの種類：ファネルトラップ
- ・設置時期：成虫の発生初期（播種2週間後頃）
- ・設置場所
 - ▶ 団地化された作付け地域で広範囲に使用する
 - ▶ 圃場周辺部の風通しのよい場所
 - ▶ 播種時期が早く生育が旺盛なほ場
- ・設置高：地上1~1.5m（そばの草丈より高く）
※支柱などを立て、固定してください。
- ・設置数：30a当たり1台（2~4個/ha）
- ・その他：トラップに捕殺された成虫は適宜処分してください



ファネルトラップの設置



ハスモンヨトウ
(オス成虫)

次回のそば情報（そばの収穫時期と収穫作業）は9月下旬に発行予定です。